

学校給食費の無償化・軽減をめざして

日本共産党
おぐち なおみ
小口 直実



◆学校給食費の無償化・軽減化の財源について

問 保育料無償化への県の補助で生まれる財源を学校給食無償化へ回せないか。

答 県の補助金の用途については3歳未満児第2子以降の保育料無償化の実施に伴い、保育料歳入が減少するため、保育所運営に係る歳出に充てる。また、令和6年度においても、保育園及び小中学校の給食費の物価高騰分として、4540万円余を公費負担することにより、従来通りの給食費に据え置く。

(市長)

要望

先日市長に提出した学校給食の無償化を請願する署名、1655筆について市長は重く受け止めてくれた。ぜひ無償化についてさらに前向きに考えてほしい。また、給食費の据え置きは、家庭の負担軽減ために、来年度以降も続けてほしい。

◆市が学んだ能登半島の教訓について

問 災害に対応する地域リーダーの育成はどのように考えているか。

答 地域防災に関する取り組みは区長が中心になって進めている。しかし、防災に関する十分な意識と一定の知識・技能を持った防災士の有資格者を増やし、地域防災リーダーとして継続的に活躍することも考えている。この防災士の資格取得に必要な経費に対し、3万円を上限として補助する制度を設けている。

(危機管理課)



宗賀備蓄倉庫

施設の計画的整備と安全性の確保を！



清風クラブ
ひらま まさし
平間 正治

その他の質問事項

- ▼ 令和6年度一般会計予算について
- ▼ 危機管理について

◆新平出博物館の建設は予定通りか

問 当初予定では、令和6年度に用地測量や基本設計を行い、翌7年度では実施設計、続いて8、9年度に建設工事の予定であった。今後のスケジュールはどの様になっているのか。また、総事業費はどう見込んでいるのか。

答 新平出博物館については、令和10年の開館に向け、6年度から事業実施の予定であった。しかし、建設物価等の高騰や、国の補助金の確保が困難となり、当初予定していた令和10年度の開館は延期となる。また、事業費は当初予定の20億円を上回ることは避けられない見込みである。

(平出博物館)

◆レザンホール天井の安全性の確保は

問 平成26年度に国土交通省が「天井に関する新

たな安全基準」を定め、いわゆる吊り天井の安全性の確保が求められた。小中学校体育館などは、直ちに対応したが、この他に該当する施設はあるのか。

答 一昨年の簡易調査で、市文化会館（レザンホール）の吊り天井が不適格であると判明した。新年度予算に改修調査業務委託料を計上し、同施設の大規模改修や老朽化した設備の更新と合わせ改修する予定である。

(社会教育スポーツ課)

要望 公共施設であり多くの人が利用する。管理責任者として、早急に対応すべきだ。



天井改修が必要なレザンホール